

## 正義連 説明資料

正義連は国庫補助金事業を目的に合致させ誠実に執行し、その結果を主管官庁へ透明に報告完了しました。

正義連は国税庁の申告の間違いなどに関して謝罪しました。再申告のために専門家の援けを受けて決算と申告を点検しています。またこの間、言論から提起された各種の疑惑について検察捜査が執行中です。従って、私どもの努力と捜査結果を見守って下さることを切にお願いします。

しかし、一部の言論はあたかも正義連が故意に会計不正を犯したかのように、「疑惑」を連日浴びせています。特に国庫補助金の一部申告漏れを、まるで補助金流用のように報道することが続いています。しかし、正義連がこれまで遂行した国庫補助金事業は、誠実に執行され、透明に管理されています。国庫補助金事業は、主管官庁の目的事業公募を通じて選定されたもので、事業計画とその執行が目的事業に合致して使用されるよう特定されています。

日本軍「慰安婦」関連公募事業は、国庫補助金統合管理システム(e 나라도움)を通じて執行されます。補助金交付から執行、精算まで委託機関(韓国財政情報院)に予告し、証明検証後に執行されます。予算項目の変更が必要な時は、主管官庁の承認を事前に受け、執行後に残った事業費と利子は委託口座から公募事業機関に返還されます。

また、「補助金管理に関する法律第 27 条、補助金管理に関する法律施行令 12 条 2」に依って、3 億ウォン以上の公募事業は、別途の監査人(会計)から精算報告の適正性について検証を受けます。

これ以上、国庫補助金使用に関する根拠のない疑惑が報道されないことを望みます。

2020 年 5 月 28 日

日本軍性奴隷制問題解決のための正義記憶連帯

(翻訳:権龍夫)